

ROHM Solution Simulator

回路データのエクスポート方法

ROHM Solution Simulator で提供している回路図は編集できず、またコンポーネントのプロパティも変更は指定されている箇所に限られています。これらを自由に変更できるようにするには PartQuest™ Explore を使う必要があります。このアプリケーションノートでは、ROHM Solution Simulator の回路データを PartQuest™ Explore へエクスポートする方法を記載しています。

回路データエクスポートの流れ

ROHM Solution Simulator と PartQuest™ Explore の違いを Table 1 に示します。両者ともに動作環境と基本となるシミュレータは同じです。違いは ROHM アプリケーション回路の提供の有無と、回路図変更の可能、不可能になります。

項目	ROHM Solution Simulator	PartQuest™ Explore
動作環境	Web ブラウザー	Web ブラウザー
シミュレータ	PartQuest™ Explore	PartQuest™ Explore
ROHM のアプリケーション回路	提供あり	提供なし
回路図の編集	不可能	可能
コンポーネントのプロパティ変更	一部で可能	可能

Table 1. ROHM Solution Simulator と PartQuest™ Explore の比較

高度なシミュレーションを実施するときの流れは以下のようになります (Figure 1)。

Step 1. ROHM ホームページよりシミュレーション回路を選び ROHM Solution Simulator を起動する



Step 2. PartQuest™ Explore へ回路データをエクスポートする



Step 3. PartQuest™ Explore で回路図を変更してシミュレーションを実施する

詳細な手順を次ページで説明します。



Figure1. ROHM Solution Simulator の回路データを PartQuest™ Explore へエクスポートしシミュレーションを実行する

Step 1

1. ROHM ホームページの ROHM Solution Simulator ページから回路図を選びます (Figure 2)。
2. 'Simulation' ボタンをクリックすると Web ブラウザー上でシミュレータが起動します (Figure 3)。

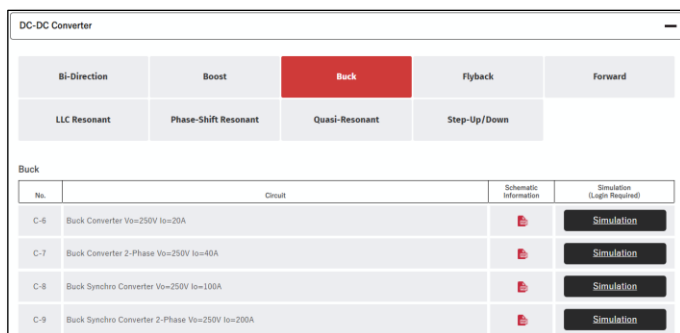


Figure 2. ROHM ホームページの ROHM Solution Simulator ページから回路図を選びます

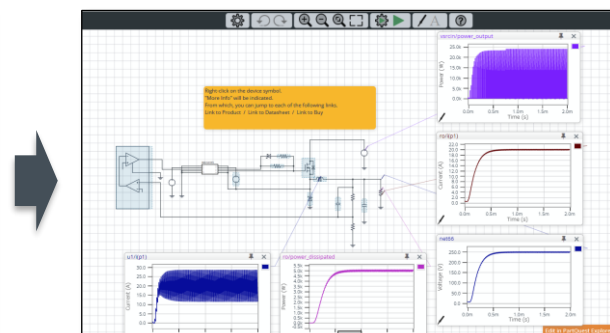


Figure 3. Web ブラウザー上にシミュレータが起動します

Step 2

1. 回路図の右下にある 'Edit in PartQuest Explore' をクリックすると PartQuest™ Explore へ回路データを自動的にエクスポートします (Figure 4)。

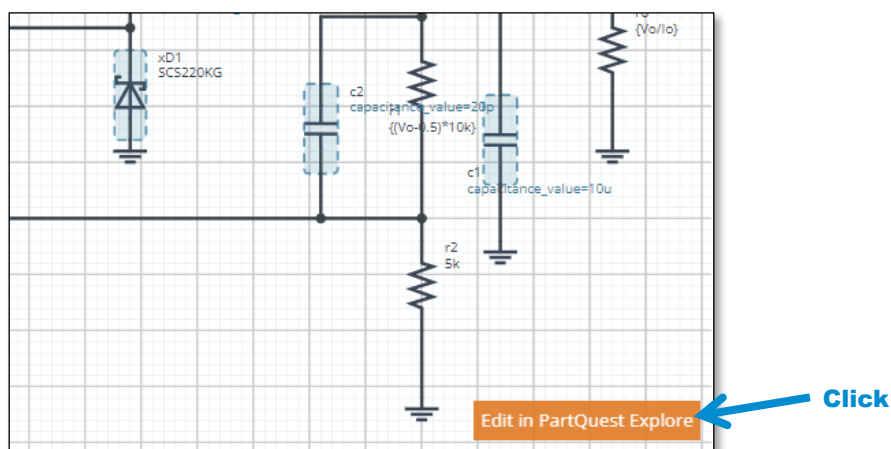


Figure 4. 回路図の右下にある 'Edit in PartQuest Explore' をクリックすると PartQuest™ Explore へ回路データを自動的にエクスポートします

2. 新たに Web ブラウザーが起動し、エクスポートした回路図が PartQuest™ Explore 上に表示されます (Figure 5)。
3. 回路図を保存しない場合、PartQuest™ Explore そのまま使用できます。
4. 回路図を保存する場合は、右上の "Login" ボタンをクリックします。アカウントを持っていない場合はユーザー登録します。

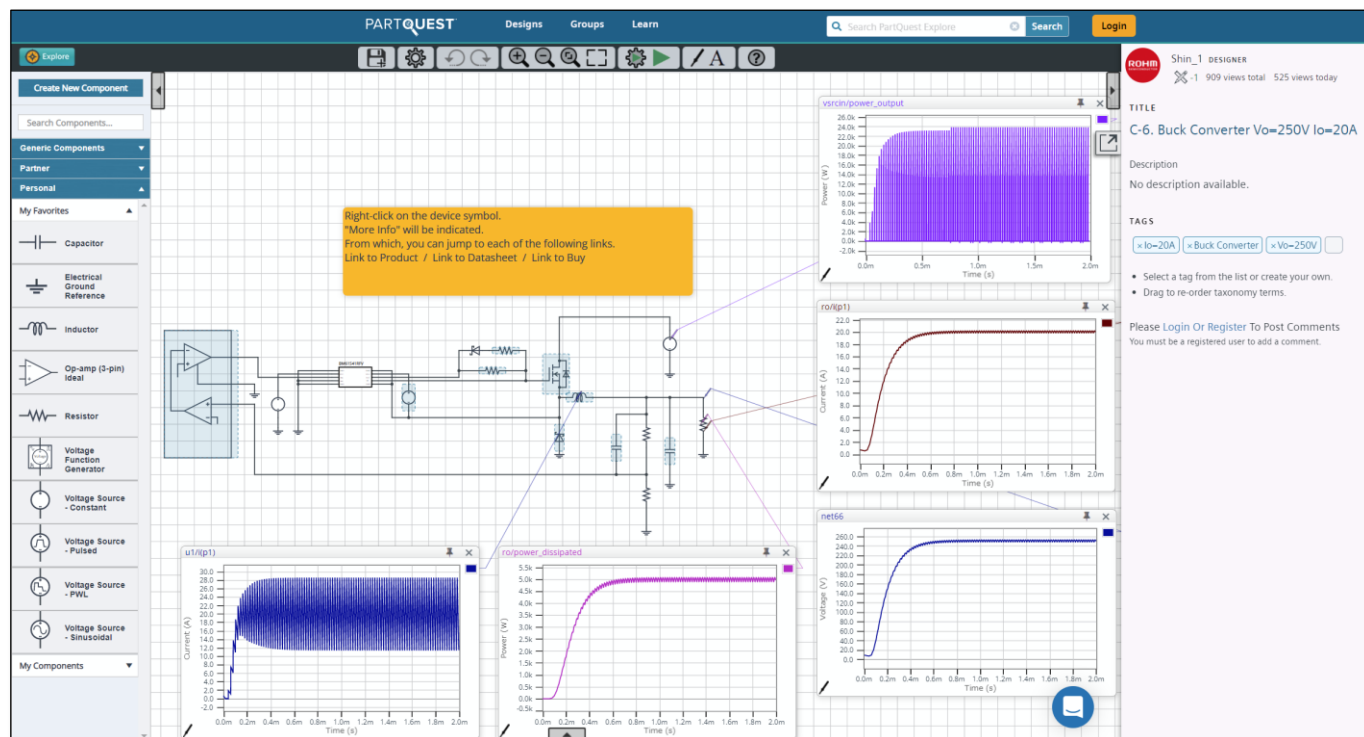


Figure 5. エクスポートした回路図が PartQuest™ Explore 上に表示される

Step 3

1. これで回路図が自由に編集できるので、目的の回路図に変更し、シミュレーションを実行します。
2. 次回、保存した回路図をシミュレーションする場合は、ROHM Solution Simulator ではなく、PartQuest™ Explore へログインして、回路図を開きます。

PartQuest™ Explore → <https://explore.partquest.com/>

ご 注 意

- 1) 本資料の記載内容は改良などのため予告なく変更することがあります。
- 2) 本資料に記載されている内容は製品のご紹介資料です。ご使用に際しては、別途最新の仕様書を必ずご請求のうえ、ご確認ください。
- 3) ロームは常に品質・信頼性の向上に取り組んでおりますが、半導体製品は種々の要因で故障・誤作動する可能性があります。
万が一、本製品が故障・誤作動した場合であっても、その影響により人身事故、火災損害等が起こらないようご使用機器でのディレーティング、冗長設計、延焼防止、バックアップ、フェイルセーフ等の安全確保をお願いします。定格を超えたご使用や使用上の注意書が守られていない場合、いかなる責任もロームは負うものではありません。
- 4) 本資料に記載されております応用回路例やその定数などの情報につきましては、本製品の標準的な動作や使い方を説明するものです。
したがって、量産設計をされる場合には、外部諸条件を考慮していただきますようお願いいたします。
- 5) 本資料に記載されております技術情報は、製品の代表的動作および応用回路例などを示したものであり、ロームまたは他社の知的財産権その他のあらゆる権利について明示的にも黙示的にも、その実施または利用を許諾するものではありません。上記技術情報の使用に起因して紛争が発生した場合、ロームはその責任を負うものではありません。
- 6) 本資料に掲載されております製品は、耐放射線設計はなされていません。
- 7) 本製品を下記のような特に高い信頼性が要求される機器等に使用される際には、ロームへ必ずご連絡の上、承諾を得てください。
・輸送機器（車載、船舶、鉄道など）、幹線用通信機器、交通信号機器、防災・防犯装置、安全確保のための装置、医療機器、サーバー、太陽電池、送電システム
- 8) 本製品を極めて高い信頼性を要求される下記のような機器等には、使用しないでください。
・航空宇宙機器、原子力制御機器、海底中継機器
- 9) 本資料の記載に従わないために生じたいかなる事故、損害もロームはその責任を負うものではありません。
- 10) 本資料に記載されております情報は、正確を期すため慎重に作成したのですが、万が一、当該情報の誤り・誤植に起因する損害がお客様に生じた場合においても、ロームはその責任を負うものではありません。
- 11) 本製品のご使用に際しては、RoHS 指令など適用される環境関連法令を遵守の上ご使用ください。
お客様がかかる法令を順守しないことにより生じた損害に関して、ロームは一切の責任を負いません。
本製品の RoHS 適合性などの詳細につきましては、セールス・オフィスまでお問合せください。
- 12) 本製品および本資料に記載の技術を輸出又は国外へ提供する際には、「外国為替及び外国貿易法」、「米国輸出管理規則」など適用される輸出関連法令を遵守し、それらの定めにしたがって必要な手続を行ってください。
- 13) 本資料の一部または全部をロームの許可なく、転載・複写することを堅くお断りします。



ローム製品のご検討ありがとうございます。
より詳しい資料やカタログなどご用意しておりますので、お問合せください。

ROHM Customer Support System

<http://www.rohm.co.jp/contact/>